

# 学会発表

(国内学会)

## 第8回中国セロトニン研究会

2003年2月15日

岡山市

- (1) 神経成長因子(NGF)誘発性痛覚過敏に対する5-HT<sub>2A</sub>受容体アンタゴニストの影響  
西尾廣昭、田村美穂、二反田綾

## 第76回日本薬理学会年会 / 第80回日本生理学会大会合同大会

2003年3月24日~26日

福岡市

- (1) ハムスターの冬眠導入ならびに維持の体温調節機構  
- adenosine系、opioid系の役割 -  
新谷光輝、田村 豊、門田麻由子、中村明弘、塩見浩人
- (2) ハムスターの覚醒期における体温上昇機構  
- 中枢TRHと褐色脂肪細胞の役割 -  
田村 豊、横山 誠、新谷光輝、門田麻由子、中村明弘、塩見浩人
- (3) NGFおよびニトログリセリン誘発性痛覚過敏に対する5-HT<sub>2A</sub>受容体アンタゴニストの影響  
田村美穂、二反田綾、田中将浩、関野幸子、井上 茜、西尾廣昭

## 日本薬学会第123年会

2003年3月27~29日

長崎市

- (1) Carquinostatin Aの全合成研究  
渡壁由子、内田佳成、町支臣成、延廣順子、日比野俐
- (2) 抗腫瘍性 veitamine の合成研究  
延廣順子、平山真秀、遠山茂雄、町支臣成、日比野俐
- (3) TMC-120A、B、Cの合成研究  
久米村鉄平、世良光子、高橋洋平、平田亜紀、町支臣成、延廣順子、日比野俐
- (4) Calothrixin A および B の合成研究  
松本考司、遠山茂雄、町支臣成、延廣順子、日比野俐
- (5) マウス乳癌FM3A細胞におけるリポ蛋白質リパーゼの分泌に關与する蛋白質リン酸化反応の解析  
住川康二、蟻川内理恵、植木 寛、森田哲生
- (6) バナデートによる抗凝固作用：血小板凝集への關与  
吉田亜矢、本屋敷敏雄、森田哲生、植木 寛
- (7) cAMP phosphodiesterase の活性調節に対する MAPK phosphatase の關与  
高見玲子、吉田亜矢、本屋敷敏雄、森田哲生、植木 寛
- (8) タイ産薬用植物 *Butea superba* 抽出成分の抗血小板凝集作用

永谷優枝、吉田亜矢、本屋敷敏雄、森田哲生、石川 勉<sup>a)</sup>、馬 權<sup>a)</sup>、樋口義洋<sup>b)</sup>、  
植木 寛

a) 千葉大学薬学部、b) 白鳥製薬

- (9) ラット肝培養細胞からの肝性リパーゼの分泌に対するロイコトリエン合成系の関与;Ca<sup>2+</sup>/Calmodulinの寄与  
田頭尚士、虻川内理恵、植木 寛、森田哲生
- (10) エールリッヒ癌細胞におけるリポ蛋白質代謝-エンドセリン-1によるリポ蛋白質リパーゼの分泌促進-  
虻川内理恵、森田哲生
- (11) 毛髪中ポリアミン類の蛍光プレラベル法による高感度HPLC分析  
井上裕文、福永桂子、鶴田泰人
- (12) ヒトリソソーム膜糖タンパク質DC-LAMP/TSC403の発現と性質  
津久井直子、今瀬義博、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (13) Bleomycin-Fe(III)錯体によるDNA鎖切断に対するフラボノイド類とアスコルビン酸の相乗効果  
金子亜理沙、杉原成美、古野浩二
- (14) ヒト血清中AnandamideのLC-MSによる同位体希釈分析  
荒川裕貴、世良庄司、柿原良枝、五郎丸毅
- (15) *Ab initio* MO法による(R)-oxopropaline Dの比旋光度計算  
秦 季之、桑田剛志<sup>a)</sup>、赤羽祐美、町支臣成、延廣順子、日比野俐、小野行雄  
a) 大正製薬医薬研
- (16) キトサンの可逆的ゲル-ゲル転移を利用したpH応答性薬物放出  
宮地伸恵、吉柳節夫、富田久夫
- (17) レボドパ含有製剤の配合変化(4)  
前田高志、中井聖子、田代美佳、中島恵子、大地麻子、渡邊宏美、片山博和、  
吉富博則、渡辺智康<sup>a)</sup>、安藤哲信<sup>a)</sup>  
a) 吉備高原ルミエール病院薬剤部
- (18) 医療現場における問題の把握と薬剤師教育への反映  
中村明弘、大地麻子、渡邊宏美、小畑かおり、田中哲郎、片山博和、吉富博則
- (19) ストレプトゾトシン誘発糖尿病マウスにおける侵害受容閾値上昇機構~脊髄内一酸化窒素とノルアドレナリンの関係について~  
藤田ちひろ、長ヶ原円、中村明弘
- (20) 薬剤管理指導情報の他医療スタッフへの伝達システムの構築  
青木弥生<sup>a)</sup>、藤間亜矢子<sup>a)</sup>、村上知倫<sup>a)</sup>、北畑三恵<sup>a)</sup>、田頭 誠<sup>a)</sup>、中村明弘、吉富博則  
a) 因島市医師会病院
- (21) オープンシステム病院における薬剤管理指導業務  
澁江なつ美<sup>a)</sup>、吉永哲史<sup>a)</sup>、有馬治男<sup>a)</sup>、伊ヶ崎芳美<sup>a)</sup>、佐貫記子<sup>a)</sup>、中村明弘、  
吉富博則、西村正広<sup>a)</sup>  
a) 徳山医師会病院

- (22) 肺からの薬物吸収に関する研究 (6) 投与液の粘度の影響  
別府博仁、山崎貴司、梶原奈美、野崎友香理、大地麻子、渡邊宏美、  
片山博和、吉富博則
- (23) Valproic acid と L-carnitine の相互作用 (1)  
古賀晶子、森直樹、堺美紗緒、大地麻子、渡邊宏美、片山博和、吉富博則
- (24) 疑義照会の院内広報について－医療事故防止と薬剤師職務の PR を目的として－  
江藤精二、牛尾敏彦<sup>a)</sup>、日高博司<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>  
a) 産業医科大学病院薬剤部
- (25) HPLC による血清中クロバザムおよびその活性代謝物の同時定量法の検討  
－特にベンゾジアゼピン系薬物を併用している場合の分離条件設定について－  
一木孝治<sup>a)</sup>、江藤精二、篠原義剛<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>  
a) 産業医科大学病院薬剤部

#### 第 76 回日本細菌学会総会

2003 年 4 月 1 日～3 日 熊本市

- (1) 回帰熱ボレリア *Borrelia turicatae* 菌体表層蛋白質 VspE の抗原決定基の解析  
田淵紀彦、岩本博行、川口博史、福長将仁

#### 第 64 回 日本分析化学討論会

2003 年 5 月 24 日～25 日 高知市

- (1) アミノ基を有する生体成分の高感度蛍光プレラベル HPLC 分析  
井上裕文、福永桂子、鶴田泰人

#### 第 52 回高分子学会年次大会

2003 年 5 月 28 日～30 日 名古屋市

- (1) キトサンのゲル－ゲル転移と pH 応答性薬物放出  
富田久夫、宮地伸恵

#### 第 19 回日本 DDS 学会

2003 年 6 月 19 日 京都市

- (1) 合成高分子を利用した抗癌剤の腫瘍集積化－ポリビニルアルコールドキシソルピシン結合  
体の合成と評価－  
金尾義治、池田由香、田中哲郎、森下真実、橋濱詩織

#### 第 20 回日本 TDM 学会学術大会

2003 年 6 月 27 日～28 日 横浜市

- (1) 化学療法中にバルプロ酸の血中濃度が低下し痙攣を発症した 1 症例  
池田博昭<sup>a)</sup>、井上勝巳<sup>b)</sup>、佐藤英治、碓井 亞<sup>b)</sup>、木平健治<sup>a)</sup>  
a) 広島大学病院薬剤部、b) 広島大学医歯薬総合研究科腎泌尿器科学

(2) テイコプラニン血中濃度のトラフレベルにおける治療目標値

篠原義剛<sup>a)</sup>、江藤精二、一木孝治<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>

a) 産業医科大学病院薬剤部

医療薬学フォーラム 2003 第11回クリニカルファーマシーシンポジウム

2003年7月5日～6日 広島市

(1) 薬剤師の母校を目指した取り組み～医療現場からのニーズに応えるために～

中村明弘

(2) 臨床薬剤師はいかに医師に働きかけていたか

森光保武、前田頼伸<sup>a)</sup>、大和浩之<sup>a)</sup>、船越幸代<sup>a)</sup>、竹田克明<sup>a)</sup>、桐林芳江<sup>a)</sup>、中村明弘、吉富博則

a) 中国労災病院

(3) 初回インタビュー用紙及び薬物治療モニタリングシート作成による新人薬剤師のスキルアップ

山崎貴司<sup>b)</sup>、山田啓太<sup>a)</sup>、日浦和徳<sup>a)</sup>、向田俊司<sup>a)</sup>、太刀掛稔<sup>a)</sup>、光永妙恵子<sup>b)</sup>、柏原美香<sup>b)</sup>、正木 円<sup>b)</sup>、清野 聡<sup>b)</sup>、中村明弘、吉富博則

a) 呉共済病院、b) 因島総合病院

第6回日本脳低温療法研究会

2003年7月9日～10日 福岡市

(1) ハムスターの冬眠導入期における体温調節機構

－ 中枢 adenosine 系の役割－

新谷光輝、田村豊、横山誠、門田麻由子、中村明弘、塩見浩人

第26回日本神経科学大会

2003年7月23日～25日 名古屋市

(1) 冬眠ハムスターにおける体温調節

新谷光輝、田村豊、門田麻由子、中村明弘、塩見浩人

第7回神経伝達物質研究会

2003年8月9日 東京都

(1) 妊娠マウスへの騒音関連ストレス負荷による新生仔情動・学習行動への影響及びセロトニン系神経化学的変化について

徳毛孝至、二反田綾、西尾廣昭

第20回和漢医薬学会大会

2003年8月30日～31日 熊本市

(1) *Helicobacter pylori*に対する屋久島産ガジュツ抽出成分およびクラリスロマイシン併用の抗菌作用

原 茂雄<sup>a)</sup>、羽田野恭子<sup>a)</sup>、重茂勝彦<sup>a)</sup>、中村道子<sup>a)</sup>、冨澤信行<sup>a)</sup>、水野修一<sup>b)</sup>、  
大橋一慶、澁谷博孝、名越哲郎<sup>c)</sup>

a) 岩手大学農学部、b) 東和病院 (北九州市)、c) 株式会社 恵命堂

(2) HPLCによるセンノシドA腸内細菌代謝物の定量分析法

竹村尚子、西村清孝、藪中真由、相澤友香、岡田健男、岡村信幸

(3) グリチルリチン代謝におけるレスポonderとノンレスポonderの比較検討

徳山ことみ、宮内秀聡、青木美恵、原 弓美、苅谷利恵、松井俊博、  
福長将仁、岡村信幸

第 16 回微生物シンポジウム

2003年9月5日～6日 山科市

(1) 回帰熱ボレリア *Borrelia duttonii* Ly の宿主感染時に発現する菌体表層蛋白の同定

田淵紀彦、福長将仁

日本生薬学会第 50 回年会

2003年9月12日～13日 東京

(1) インドネシア天然薬物(38): *Scurrula atropurpurea* (ヤドリギ科) 由来の癌細胞浸潤阻害活性物質

大橋一慶、Hendig Winarno、澁谷博孝、向井睦子<sup>a)</sup>

a) 大阪府立成人病センター

(2) インドネシア天然薬物(39): Octadeca-8,10,12-triynoic acid C-16 ホモローグの癌細胞浸潤阻害活性

大橋一慶、Hendig Winarno、澁谷博孝、向井睦子<sup>a)</sup>

a) 大阪府立成人病センター

第 62 回日本癌学会総会

2003年9月25日～27日 名古屋市

(1) ポリメトキシフラボノイドであるノビレチンの血管新生抑制作用 (第 2 報)

国政和宏<sup>a),b)</sup>、渡辺 薫<sup>a),b)</sup>、佐藤眞友美<sup>a)</sup>、池北雅彦<sup>b)</sup>、伊東 晃<sup>c)</sup>、日比野俐、  
佐々木琢磨<sup>d)</sup>、及川 勉<sup>a)</sup>

a) 東京都臨床研、b) 東京理科大学理工学部、c) 東京薬科大学薬学部、

d) 金沢大学ガン研

(2) 乳癌FM3A移植マウスにおけるリポ蛋白質代謝の変動ーナベルピン及びアリミデックスの効果ー

虻川内理恵、森田哲生

日本分析化学会 第 52 年会

2003年9月23日～25日 仙台市

(1) 脳内ピペコリン酸の高感度蛍光プレラベル HPLC 分析

阪田安彦、井上裕文、福永桂子、二反田綾、西尾廣昭、鶴田泰人

### 第13回日本医療薬学会年会

2003年9月27日～28日 神戸市

- (1) 医薬品適正使用への薬剤師の関与～病態に応じた投与量設定～  
兵頭裕介、前田頼伸<sup>a)</sup>、大和浩之<sup>a)</sup>、船越幸代<sup>a)</sup>、竹田克明<sup>a)</sup>、桐林芳江<sup>a)</sup>、中村明弘、  
吉富博則  
a) 中国労災病院
- (2) 調製した抗悪性腫瘍剤の使用期限設定と病棟への周知徹底について  
一木孝治<sup>a)</sup>、江藤精二、篠原義剛<sup>a)</sup>、貞末悦子<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>  
a) 産業医科大学病院薬剤部

### 第33回日本神経精神薬理学会年会

2003年10月8日～10日 奈良市

- (1) 睡眠と冬眠の中枢制御機構—その類似点と相違点—  
塩見浩人

### 第36回日本薬剤師会学術大会

2003年10月12日～13日 福岡市

- (1) 軟膏希釈時の安定性について  
渡邊宏美、中西華世湖、大地麻子、片山博和、吉富博則、河野啓三<sup>a)</sup>、三浦常代<sup>a)</sup>  
a) 広島南薬局
- (2) 抗癌剤の調製歴および投与歴管理における市販データベースソフトの活用  
篠原義剛<sup>a)</sup>、江藤精二、一木孝治<sup>a)</sup>、貞末悦子<sup>a)</sup>、高橋浩二郎<sup>a)</sup>  
a) 産業医科大学病院薬剤部
- (3) リスクマネージャーとしての薬剤師の貢献—院内処方せん疑義照会の啓蒙活動—  
高橋浩二郎<sup>a)</sup>、江藤精二、牛尾敏彦<sup>a)</sup>、日高博司<sup>a)</sup>、岩本 緑<sup>a)</sup>、高津江梨<sup>a)</sup>  
a) 産業医科大学病院薬剤部

### 第76回日本生化学会大会

2003年10月15日～18日 横浜市

- (1) Stimulatory release of lipoprotein lipase produced by Endothelin-1 from Ehrlich ascites tumor cells: Relation with protein-phosphorylations  
虻川内理恵、多田みずえ、本屋敷敏雄、森田哲生
- (2) Stimulation of 5-lipoxygenase on release of hepatic triglyceride lipase from rat cultured hepatocytes  
田頭尚士、虻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生

第56回日本細菌学会中国・四国支部総会

2003年10月16日～17日 徳島市

- (1) *Borrelia duttonii* Ly 株 recA 近傍の遺伝子構成解析  
岩切大輔、三谷春美、福長将仁
- (2) スナネズミ感染時発現する *Borrelia duttonii* Ly 株菌体表層蛋白の解析  
田淵紀彦、友田幸一郎、三谷春美、福長将仁

第29回反応と合成の進歩シンポジウム

2003年10月20日～22日 岐阜市

- (1) 抗腫瘍性インドロイミノキノン Veitamine の全合成研究  
延廣順子、平山真秀、遠山茂雄、町支臣成、日比野俐

第12回日本ダニ学会大会

2003年10月23日～25日 那覇市

- (1) ツツガムシのミトコンドリア遺伝子構成、マダニ類との比較  
三谷春美、福長将仁
- (2) 回帰熱ボレリア媒介ダニと回帰熱調査  
福長将仁、三谷春美

第25回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム

2003年11月13日～14日 金沢市

- (1) 初代培養ラット肝細胞からの肝性リパーゼの分泌に關与するロイコトリエン合成系  
田頭尚士、螻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生

第42回日本薬学会・日本病院薬剤師会中国支部学術大会

2003年11月15日～16日 高松市

- (1) フロイソキノリン系アルカロイド TMC-120A、B および C の合成研究  
久米村鉄平、町支臣成、林 可奈、湯川洵子、延廣順子、日比野俐
- (2) 生物活性を有する Calothrixin A および B の合成研究  
遠山茂雄、町支臣成、松本考司、岩崎容子、大森花枝、延廣順子、日比野俐
- (3) 癌細胞からのエンドセリン-3によるリポ蛋白質リパーゼの分泌  
多田みずえ、螻川内理恵、本屋敷敏雄、森田哲生
- (4) ヘビ毒中に含まれる  $\alpha_1$ -アドレナリン受容体結合物質  
前園健作、本屋敷敏雄、Anthony T. Tu \*, 螻川内理恵、森田哲生
- (5) 簡易な前処理による血漿中タウリンの高感度蛍光プレラベル HPLC 分析  
井上裕文、福永桂子、鶴田泰人
- (6) メバロン酸二リン酸脱炭酸酵素の諸性質、並びに正常血圧ラットと脳卒中易発症ラットとの比較  
道原明宏

- (7) 一過性発現させたリソソーム膜タンパク LGP85 の細胞内分布  
向田真希、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (8) フラボノイド類による培養肝細胞におけるグルクロン酸抱合反応阻害機序  
熊谷岳文、杉原成美、古野浩二
- (9) 同位体希釈分析法によるアナンドアミドおよび 2-AG のヒト血清中濃度測定  
荒川裕貴、石崎由子、柿原良枝、五郎丸毅
- (10) モルヒネ耐性形成における副腎皮質ホルモンの役割  
－副腎摘出の中樞アデノシン系への影響－  
深海広平、岡田宏美、門田麻由子、田村 豊、塩見浩人
- (11) 神経障害性痛覚過敏モデルラットにおけるプロスタグランジン類の関与  
浦志明子、古谷晃紀、熊谷 彩、門田麻由子、田村 豊、塩見浩人
- (12) ハムスターの冬眠機構解明  
－覚醒期における褐色脂肪細胞の役割－  
横山 誠、新谷光輝、門田麻由子、田村 豊、塩見浩人
- (13) ハムスターの冬眠機構解明  
－冬眠関連物質の神経保護作用－  
河井亜美、片岡真紀、川口俊雄、門田多希子、門田麻由子、田村 豊、塩見浩人
- (14) 光延反応を用いた分子内環化反応の分子軌道法による解析  
秦 季之、赤羽祐美、高橋秀依<sup>a)</sup>、池上四郎<sup>a)</sup>、小野行雄  
a) 帝京大学薬学部
- (15) allo-PBSCT に対する免疫抑制剤投与に関わった症例  
金子亜里沙<sup>a)</sup>、日浦和徳<sup>a)</sup>、高岡正宣<sup>a)</sup>、太刀掛稔<sup>a)</sup>、大地麻子、中村明弘、吉富博則  
a) 呉共済病院
- (16) 心理的および身体的ケアを目的とした自己管理表の作成  
楠元 茜、宮田 明<sup>a)</sup>、清水研一<sup>a)</sup>、北浦照明<sup>a)</sup>、中村明弘、吉富博則  
a) 中国中央病院
- (17) 病院・薬局実習学内プレトレーニングの評価と課題Ⅰ～処方せん調剤実習の再構築～  
佐藤英治、大地麻子、渡邊宏美、小畑かおり、中村明弘、片山博和、江藤精二、  
吉富博則
- (18) 病院・薬局実習学内プレトレーニングの評価と課題Ⅱ～実習課題（疑義照会、調剤過誤、  
服薬説明）に基づく評価～  
江藤精二、大地麻子、渡邊宏美、小畑かおり、佐藤英治、中村明弘、片山博和、  
吉富博則
- (19) 肺からの薬物吸収に関する研究（7） 投与液の成分と薬物の相互作用  
別府博仁、山下真紀子、渡邊充貴、大地麻子、渡邊宏美、片山博和、吉富博則

#### 第4回日本医療情報学会学術大会

2003年11月22日～24日 千葉市

- (1) オープンソースレセプトソフトウェアを利用した教育用処方せんデータベースシステムの



開発

中村明弘、吉富博則、世良庄司

**第26回日本分子生物学会**

2003年12月10日～13日 神戸市

- (1) 低酸素による核内オーファンレセプターROR $\alpha$ 4遺伝子の転写活性化機構  
HIF-1とSp1との協調的な相互作用  
三木尚樹、生田恵、松井隆司
- (2) オーファン核内レセプターROR $\alpha$ の抗炎症作用：I- $\kappa$ B遺伝子の転写活性化機構  
藪田吉弘、吉本志高、三木尚樹、松井隆司

(国際学会)

**19<sup>th</sup> International Congress of Heterocyclic Chemistry**

August 10 ~ 15, 2003 Fort Collins, Colorado (U. S. A.)

- (1) A new synthesis of the functionalized indoles by the allene-mediated electrocyclic reaction involving the pyrrole 2,3-bond  
Tominari Choshi, Maho Hirayama, Junko Nobuhiro, and Satoshi Hibino
- (2) The absolute configuration of (+)-oxopropaline D by theoretical calculation of specific rotation and asymmetric synthesis  
Satoshi Hibino, Takeshi Kuwada, Miyako Fukui, Tominari Choshi,  
Junko Nobuhiro, Toshiyuki Hata, and Yukio Ono
- (3) Synthetic study of indoloiminoquinone alkaloid veitamine  
Junko Nobuhiro, Maho Hirayama, Shigeo Tohyama, Tominari Choshi, and Satoshi Hibino

**1st International Symposium of Neurobehavioral Pharmacology**

2003年9月13日～15日 岡山市

- (1) Effect of prenatal stress on neonatal mice - Examination on emotional behavior, learning ability and its neurochemistry.  
Koji Tokumo, Kazuki Ohchi, Fumiko Monzen, Aya Nitanda, Hiroaki Nishio
- (2) Identification of the binding sites and selectivity of sarpogrelate to human 5-HT<sub>2A</sub>, 5-HT<sub>2B</sub> and 5-HT<sub>2C</sub> receptor subtypes by molecular modeling.  
Habib Abul Nuntasir<sup>a</sup>), Mamunur Rashid<sup>a</sup>), Philippe Manivet<sup>b</sup>),  
Hiroaki Nishio, Masaji Ishiguro<sup>a</sup>), Takafumi Nagatomo<sup>a</sup>).  
a) Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences,  
b) Hopital Lariboisiere, Paris, France.

**TOMECS International Symposium (AIMECS 03 Post Symposium Meeting)**

2003年10月18日～19日 富山市

- (1) Total synthesis of a new type of furo[3,2-h]isoquinoline alkaloid, TMC-120B  
Teppei Kumemura, Tominari Choshi, Kana Hayashi, Junko Yukawa,  
Junko Nobuhiro, and Satoshi Hibino